

創価学会「勤行要典」による

勤行と御祈念文

御本尊に向かい（鈴）、諸天供養の意義も込めて  
題目三唱します。

方便品・自我偈の読誦と唱題

方便品を読誦します。（鈴）  
自我偈を読誦します。（鈴）  
題目を唱えた後（鈴）、題目三唱します。

次の内容を祈念します。

一、御本尊への報恩感謝

ほうおんかんしや  
法華経の肝心・南無妙法蓮華経の御本尊に南無し、  
ほうおんかんしやもう  
報恩感謝申し上げます。

まつほう ごほんぶつ にちれんたいしようにん なむ  
末法の御本仏・日蓮大聖人に南無し、  
ほうおんかんしやもう  
報恩感謝申し上げます。

につこうしようにん なむ  
日興上人に南無し、報恩感謝申し上げます。

と祈念の後、題目三唱します。

二、三代会長への報恩感謝

さんだいかいちよう  
創価学会初代会長 牧口常三郎先生、

だいにだいかいちよう と だじようせいせんせい  
第二代会長 戸田城聖先生、

だいさんだいかいちよう いけだだいさくせんせい  
第三代会長 池田大作先生を

こうせんる ふ えいえん ししやう あお  
広宣流布の永遠の師匠と仰ぎ、

その死身弘法の御徳に報恩感謝申し上げます。

と祈念の後、題目三唱します。

## 一、世界広宣流布の祈念と回向

世界広宣流布大願成就と、

創価学会万代の興隆を御祈念申し上げます。

自身の人間革命と宿命転換を祈り、

種々の願いが成就しますよう御祈念申し上げます。

(種々の祈念はここで行います)

先祖代々並びに亡くなられた会員・友人の  
追善供養のために。

(回向の中で鈴を打ちます)

と祈念の後、題目三唱します。次に

世界の平和と一切衆生の幸福のために。

と祈念の後(鈴)、題目三唱して終わります。